

2020年も今月で終わりです。冬の寒さも本格的になってきました。かぜやインフルエンザ、感染性胃腸炎等に注意して、この冬を乗りきりましょう。

もし、「かぜかな？」と思うことがあったら早めに受診しましょう。また、外から戻ったときや食事の前には、必ず手を洗いうがいをしましょう。

定期健康診断☆まとめ

身体測定平均値(本校)

	身長 (cm)		体重 (kg)	
	男子	女子	男子	女子
1年	154.1	152.0	44.8	44.4
2年	161.2	154.4	50.3	48.3
3年	165.1	156.3	54.1	50.6

休校明けから実施してきた健康診断も残すところ、脊柱側湾症精密検診(三次)のみとなりました。保護者の皆様には保健調査等をはじめ、多くのご協力をいただきありがとうございました。

※ 治療等を要する人には、「健康診断結果のお知らせ」等で通知しましたので、医療機関で受診してください。通知のなかった人は今回の検診では「異常なし」でした。これからも健康を保つよう心がけてください。尿検査二次の結果と心臓検診二次、脊柱側湾症検診二次の結果は受検者全員に通知しました。

終了した健康診断の結果を記入した「健康の記録」を三者面談時に提示しますので、健康診断結果の確認をお願いいたします。1・2年生は来年度も使用するので確認後に回収しますが、必要であれば、メモをとったり、いちど持ち帰ったりすることも可能です。持ち帰った場合は、12月23日までに担任へ提出してください。3年生は、確認後、家庭で大切に保管してください。

★成長障害・内分泌疾患の早期発見について★

近年、内分泌疾患(『低身長』『肥満傾向』『低い痩(やせ)』等)について早期発見が求められています。これらの原因はさまざま、疾病が潜んでいる可能性もあります。なかには一定時期(成長期等)を過ぎてしまうと、効果的な治療を受けることが困難になるものもあり早期発見が重要です。これらの早期発見には継続的な観察等が必要なため、ご家庭でもお子様の発育の観察をお願いいたします。

「健康の記録」に載っている『成長曲線』で確認してみてください。(中1は12歳、中2は13歳、中3は14歳)

お子様の身長や体重に気になる傾向がみられたら専門医に相談することをおすすめします。



エイズについて正しい知識をもち、差別・偏見をなくしましょう。

次のようなことから感染しません。

- ★ あくしゅ
- ★ 蚊やダニ
- ★ 給食などの食器
- ★ 汗・接触
- ★ せきやくしゃみ・だ液
- ★ バス・電車のつり革
- ★ 洋式トイレの便座
- ★ プール・お風呂 など

HIV・エイズについて知ろう

HIVとは、ヒト免疫不全ウイルスと呼ばれるエイズの原因ウイルスです。HIVに感染すると徐々に、免疫機能の中心的な役割を担っているCD4リンパ球が破壊されていきます。そのため、免疫が十分に働かなくなると、様々な感染症や悪性腫瘍などを引き起こすようになります。この状態が、エイズです(HIVに感染しただけではまだエイズとはいえません)。HIVは一度感染すると完全に排除することはできませんが、現在は多数の抗HIV薬が開発され、HIVの増殖や病気の進行を抑えることができるようになってきています。

かぜやインフルエンザ等の流行る時期になりました！

一人ひとりが予防策をしっかりと確認し、新型コロナウイルスも含めた感染拡大を防いでいきましょう。「うがい・手洗い・換気」は必ずおこなってください。ご家庭でも、お子様の健康観察等のご協力をお願いいたします。

保護者の皆様へ ※感染拡大予防のためご協力をお願いいたします。

★学校感染症のため「インフルエンザ」と診断されたら、登校はできません。自宅でゆっくり休養してください。出席停止期間は「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」となっています。主治医の登校指示にしたがってください。また、登校再開の初日には、医師に記入していただいた「登園・校許可書(インフルエンザ)」を提出してください。(11月2日配布文書参照)

★かぜぎみの人は無理をせず早めに医療機関で受診してください。

★お子様を早退させる場合は、原則保護者の方に連絡を入れさせていただきます。お勤め先や緊急連絡先、携帯電話番号などに変更がありましたら、すみやかに担任までご連絡ください。確実に連絡がとれるようご協力をお願いいたします。

